

# 緑のセンターだより

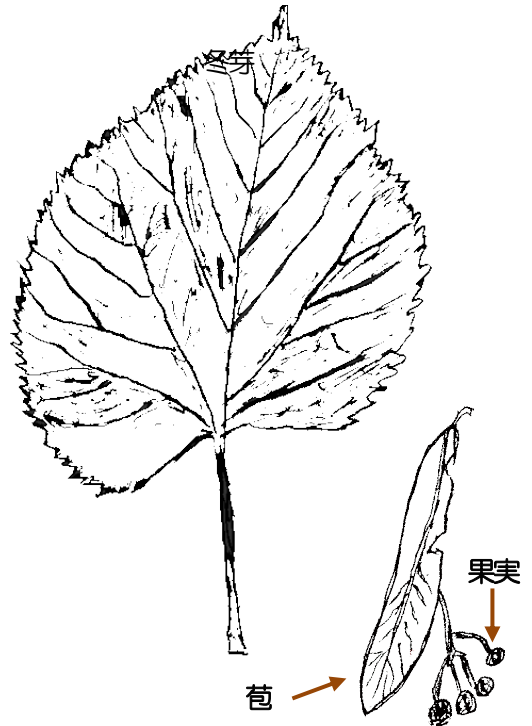
NO. 220 平成 29 年 7 月 1 日発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## オオバボダイジュ

シナノキ科 シナノキ属  
*Tilia maximowicziana*

オオバボダイジュは日本原産で、北海道、東北、北陸、関東地方北部に分布し、山地の落葉樹林内に生育します。樹高は10～20mになりますが、大きいものは25mになるものもあります。樹皮は暗灰色から紫暗灰色で別名アオジナとも呼ばれます（アカジナはシナノキ）。老木になると樹皮が浅く縦に割れます。若い枝や葉の裏、葉柄にも星状毛が密に生えます。葉の表は無毛です。葉の裏の側脈の基部にも淡褐色の軟毛が密に生えます（毛叢）。葉は互生し、葉柄は長さ4.5～7cmと長く、葉身は長さ7～13cm、幅6～11cmのゆがんだ円形で、先端は短くとがり、基部はゆがんだハート形または切形をしています。縁にははとがった鋸歯があります。花は札幌では7～8月に葉腋から散房状の集合花序を下向きにつけ、白黄色で香りのよい花を咲かせ、シナノキとともに蜜源植物のひとつとされています。花弁と萼片は各々5個です。果実は直径1cm程度になる球状または楕円形の堅果で、5個の稜があり、灰白色の短い軟毛が密に生えます。10月頃に熟し、裂開はしません。中に1個の種子が入っており、熟した種子は花序に付く、へら型の苞とともに枝から外れ、苞が翼となって、ゆっくりと回転しながら落ちて種子が散布されます。



オオバボダイジュの和名（大葉菩提樹）の由来は、中国原産で約800年前に渡来したボダイジュ（*T. miqueliana*）に似て、葉が大型なのでこの名がついたのではないかとされています。また、モイワボダイジュ（葉に毛が少なく葉裏が緑色）と言うものもありますが、これは札幌市の藻岩山で発見されたオオバボダイジュの変種だそうです。

用途としては、器具材、ベニヤ板、建築材、公園樹・街路樹等で、札幌市では平成23年4月現在で街路樹として10,212本植栽されているそうですが、シナノキとの混植になっているそうです。主な路線としては中の島付近、北海学園大学付近、苗穂駅付近で、苗穂にある木は非常に樹形の良いものが見られるようです。オオバボダイジュだけの植栽は札幌新道の新川以西にあるそうです。

ちなみに、シューベルトの歌曲などに歌われる菩提樹（リンデンバウム）は、ヨーロッパ原産のシナノキの近似種であるセイヨウシナノキ（*T. europaea*）で、さらに、釈迦がその下で悟りを開いたとして有名な木はまったく別種でクワ科のインドボダイジュ（*Ficus religiosa*）で、日本のお寺では仏教の聖樹としてインドボダイジュの代わりに中国原産のボダイジュが植栽されています。（M.T）

# 7月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。  
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00		
☆豊平公園	811-9370	月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)		
☆平岡樹芸センター	883-2891	水曜、土曜
☆百合が原公園	改修工事のため休館	
(平成30年1月下旬頃までの予定)		

## ◆芝生の管理について

芝生の管理は芝刈り、追肥、灌水が基本で、夏の期間は生育が最盛期となるため、芝刈りと追肥が最も重要です。ですが、この時期、芝生にキノコが生えた、土が盛り上がった（ミミズ糞塚）といった相談が寄せられます。キノコやミミズ糞塚は美観を損ね、芝生に良くない影響を与えかねません。

### 1. キノコ

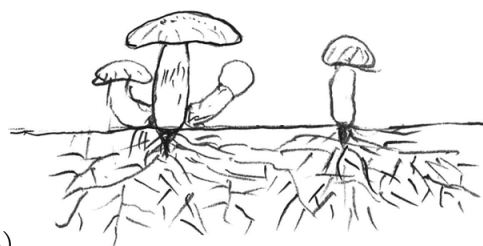
芝生にキノコ（子実体）が生えるのは、土壌中に菌糸体が成長した結果と考えられます。この状態が続くと、キノコの菌糸体層ができ、芝生の床土は水や空気を通しづらくなります。その結果、晴天が続く、土壌水分が減少すると肥料濃度が上昇して芝生が濃緑色になったり、生理障害で変色するなどの症状が現れます。最悪の場合は芝生が枯死することもあります。芝生の根の床土に菌糸が繁殖していますので、根への悪影響が考えられます。

#### 【原因】

- (1) 未熟バーク堆肥の施用（床土造成時に施用した）
- (2) サッチの堆積による未熟有機物の増加
- (3) 排水性、通気性の悪化

#### 【対策】

- (1) 丁寧なサッチング（爪先の細い金属熊手を使用すると良い）、  
または、サッチ分解剤の使用
- (2) エアレーションによって、排水性、通気性の確保
- (3) キノコ（子実体）の早めの除去



芝生 床土内の菌糸

### 2. ミミズ

ミミズは日本には200種類程いるといわれます。生息分布は、北海道や寒冷地ではツリミミズ科が多く、西日本や温かい場所ではフトミミズ科が多く繁殖します。体長は、ツリミミズ科は6～10cm、寿命2年、フトミミズ科は10～20cm、寿命1年とされています。体色は主に褐色をしています。手足がないので全身で匍匐前進します。行動は夜間、特に日没直後や夜明け直前に活発に行います。

ミミズは枯れ葉や枯草の他、土粒を呑み込んで有機物、微生物、小動物を消化吸收し、粒状の糞を排出します。1日に1匹の排出する糞土の量はミミズの体重か体重の半分に当たるとされています。農耕地では団粒構造の形成に大きな役割を果たす益虫ですが、芝生では糞塚を作り美観を損ねます。また、雨の日の翌日には芝生にミミズが出て不快な思いをします。

#### 【被害】

- (1) 硬くなったミミズの糞塚により、芝刈り機の刃を痛める
- (2) 雨の日の翌日にはミミズが芝生の上を這い、美観を損ねる

フトミミズ科は4月頃孵化し、4～6月、9～10月には活動が活発になります。

#### 【対策】

椿油粕（50～100g/㎡）を散布し、灌水します。その後、芝生に出てきたミミズを捕殺するか、捕まえて農耕地に移動させます。

【参考文献・資料】新版 芝生の病害虫と雑草（全農教）、芝生のお手入れとガーデニング

## ◆夏野菜の管理

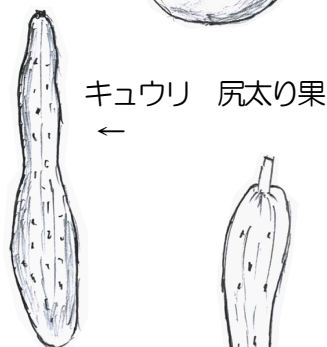
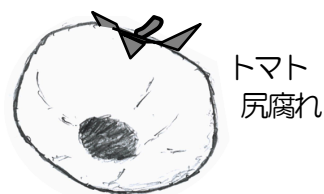
気温が高くなり、野菜の生育も旺盛になる時期ですが、一方では、暑さが強く生育に障害が発生しやすい時期でもありますので、適切な管理を行い、生理障害の発生を防ぎましょう。

## 作物全般の高温期の基本的対策：

- ①**土の温度**：畑にワラ・枯れ草などでマルチを行い、土が高温にならないようにします。白黒ダブルポリフィルム、銀黒マルチ、白マルチなどでも良いでしょう。
- ②**追肥**：果菜類は収穫が長期間になりますので、途中で肥料切れのないように定期的に追肥を行ってください。1回の施肥量を多くすると生理障害を起こしやすくなりますので、少量を回数多く施用することを心がけてください。
- ③**水やり**：乾燥傾向を好む野菜への水のやりすぎ、やや湿度を好む野菜の乾かしすぎに注意します。その野菜にとって大きな水分変化が起きないようにしましょう。

### トマト・ナス・ピーマンなど

- ・**尻腐れ**：トマトで多いのは果実の尻が黒く傷む「尻腐れ」です。これは石灰欠乏の症状ですが、本当に石灰が足りなくて発生している例は少なく、ほとんどが窒素肥料の過剰施用で発生しています。  
対策：窒素の施用量を参考書のとおり守るようにします。
- ・**着色不良**：  
①肥料が多すぎると着色にムラを生じます。  
②果実が真夏の直射日光に当たると日焼けが生じ、着色にムラを生じます。  
対策：真夏の果実に直射日光をあてないよう工夫しましょう。
- ・**果実のひび割れ**：果実の大きさが決まってから雨が多くなると、ヒビが入ります。  
対策：水分の急激な変化がないように水管理を行います。



### キュウリ・カボチャなど

- ・**ウドンコ病**：気温が20℃前後で窒素肥料が過剰な場合や不足している場合に多く発生します。  
対策：白いカビが見え始めたら拮抗らないように防除を行います。
- ・**整枝**：子づる・孫づるを放置しておくと過繁茂になり、果実が着きにくくなったり、ウラ（末）成りの果実ができやすくなります。  
対策：整枝後のつるの本数は、日光が株の中までチラチラ入る程度に整えましょう。
- ・**奇形果**：低温・高温など環境の変化、肥料の過不足、日照不足、生長不足、過繁茂などで生じやすくなります。  
対策：マルチをして土の温度を25℃以下に保つ、肥料分を一定の濃度に保つ、過繁茂にしないなどがあげられます。

### ハクサイ・キャベツなど

- ・**芯腐れ（石灰欠乏症）**：ハクサイの中心部、葉の縁が傷みます。畑の乾燥、窒素肥料のやり過ぎ、高い地温で発生しやすくなります。  
対策：①畑を乾燥させない。  
②堆肥を十分施用し、水持ちが良く、排水性の良い畑を作る。  
③土の温度が上がらないようにワラ、枯れ草などでマルチを行う。  
④窒素肥料は基準量内で施用する。  
⑤雨が少ない時は灌水する。



特にハクサイ、キャベツは寒い時期が旬の野菜ですので、夏の栽培は工夫が必要です。



# 7月～8月の催しのお知らせ



' 17. 7 月号

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
果樹などの夏の病害虫防除	7月12日(水)	13:30～	6/11(日)～	無料
シリーズ講座				
【バラづくり実践講座】 ②花後の剪定と秋の開花に向けた管理	7月15日(土)	10:00～	7/11(火)～	300円
【やさしい宿根草講座】 ④オーナメンタルグラスと夏越し	8月5日(土)	13:30～	〃	100円
クラフト教室				
あけびとハーブのハート型トレイ	7月26日(水)	10:00～	7/11(火)～	2,300円
現代押し花アート体験・ミニ額作り「花のワゴン」	8月1日(火)	〃	〃	2,700円

百合が原公園 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・ガイド				
お散歩ガイド	7月15日(土)、7月22日(土)	13:00～	直接会場へ	無料
夏休み！廃油でキャンドル作り	8月5日(土)	13:30～	7/11(火)～	300円
百合が原公園緑のセンターは改修工事のため、6月19日(月)～平成30年1月下旬頃まで休館となります。 休館中は展示会及び緑の相談はお休みさせていただきますが、講習会・ツアー・ガイドにつきましては実施予定です。 詳しくは百合が原公園HPに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。 なお、休館中は講習会の受付・お問い合わせの電話番号が変わります(011-772-4722)。				

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
庭木の手入れ④クロマツ・アカマツの整枝・剪定	7月23日(日)	10:00～、13:30～	7/11(火)～	300円
庭木の手入れ⑤常緑樹を小さくする	7月30日(日)	10:00～、13:30～	〃	〃
庭木の手入れ⑥オンコノ整枝・剪定	8月13日(日)	10:00～、13:30～	〃	〃
子ども向けイベント				
こども夏まつり	7月22日(土)	15:00～17:00	直接会場へ	

## その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
滝野森フェス～2017 *Summer	7月23日(日)10:00～	駐車料金有入園料別途 遊びにより要申込・有料あり	滝野すずらん 丘陵公園	592-3333
滝野の森 野外昆虫博物館	7月26日(水)～8月20日(日)			
カルチャーナイト in 西岡公園	7月21日(金)18:00～	一部要申込・一部有料	西岡公園	582-0050
子りす工房	7月30日(日)10:00～	直接会場へ:有料		
ひらおか夏のチョウチョと虫の観察ツアー	8月5日(土)10:00～	直接会場へ:100円	平岡公園	881-7924
夏休み平岡公園にぎわいフェスタ	8月12日(土)9:15～9:30 受付	時間までに直接会場へ:100円		
青空コンサート！in 中島公園	7月30日(日)13:00～	直接会場へ:無料	中島公園	511-3924
第42回白石区ふるさとまつり	7月15日(土)・16日(日)10:00～	直接会場川下公園へ	白石区地域振興課	861-2422
アラスカのサケたち	7月15日(土)～8月27日(日)	直接会場へ:無料	さけ科学館	582-7555
サケたちのえさやり	7月16日(日)、8月6日(日)14:00～	直接会場へ:無料		
公開さかな調査	8月12日(土)10:00～	直接 琴似発寒川会場へ:無料		
夏の自然観察会	7月16日(日)10:00～	直接会場へ:100円	前田森林公園	681-3940
のうし夏まつり	7月22日(土)～7月23日(日)	直接会場へ:一部有料	農試公園	615-3680
木の葉でたたき染め	7月29日(土)10:00～	要申込:300円	モエレ沼公園	790-1231
札幌国際芸術祭2017	8月6日(日)～10月1日(日)	有料/パスポート		
アツベツハンドメイド夏	7月29日(土)10:00～	直接会場へ:有料	厚別公園	894-1144
こども夏まつり	8月11日(金祝)10:00～	直接会場へ:一部有料	円山公園	621-0453
大通公園おもてなしガイドツアー	7月22日(土)・25日(火)10:00～	要申込:無料	大通公園	251-0438
創成川公園まるわかりガイドツアー	7月29日(土)10:00～	要申込:無料	創成川公園	221-4100